

中村じゅんや 市政便り



連絡先（事務所）：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

<TEL> 055-997-1336

<E-Mail> junya_shizunaka@office.tnc.ne.jp

<FAX> 055-997-5745

<URL> http://www4.tokai.or.jp/Junya_susono/

裾野市議会 3月定例会が開催されました。

■生まれて初めて一般質問を経験

一般質問というのは、議員が市の施策の状況や、方針等について、報告・説明を求めたり、質問したりするものです。各市町村により運営方法が異なりますが、裾野市の場合には、①質問項目を事前に通告し、②1人の質問持ち時間30分を使い、③一括方式か、一項目ずつ問える一問一答方式で行うことができます。私は一問一答方式を選択。各項目4回まで質問することができます。

いざ登壇すると、結構緊張するものです！

マイクを通した言葉全てが議事録に残るので、漢字を読み間違いように！下手な事を言わないように等と余計な事まで考えてしまいました・・・が何とか残り時間0秒で、目的を達することができました。



①障がい者の一般就労の定着支援について

「就労先である一般企業ともっと情報を共有すべき！」ということ。

障がい者就労は、法定雇用率の後押しもあり働く環境が整えられてきていますが、一度就職すると「自立した」と捉えられ、福祉サービスとは縁が切れてしまいます。定着には時間がかかり、困っている人もたくさんいる。退職を選択する前に就職先担当者と福祉が情報を共有し、手を差し伸べることができるようになることが必要ではないでしょうか？

Q1. 障がい者福祉連絡会等の場に、一般企業の方を構成員として加える考えはないか？

A. 情報共有として大変意義深い、企業側の理解を頂けるよう働きかけ、情報交換の場を設けたい。

Q2. 企業等が支援員等を特別に配置しやすくなるよう支援する考えは？

A. 国、県も職場定着支援強化のため予算含めて拡大方向にある。市として可能な支援方法について企業側と協議しながら、市としても検討していきたい。

②乳幼児虐待予防対策の充実について

「出産直後の母親に相談しやすい環境を早い段階で知ってもらおう。各担当の気づきを共有し、地域での見守りを充実しよう」ということ。

平成26年度に裾野市は合計特殊出生率1.82と、長泉町と並び県内トップとなった。県下では裾野市が行っている子育て支援に注目が集まっており喜ばしいことである。一方親などによる子供の虐待が深刻な社会問題になっており、児童虐待防止法施行前の平成11年に比べても約6倍と増加している。子どもが増えても虐待はない裾野市とするため、なお一層体制を充実させる時期にあるのではないのでしょうか？

Q1. 虐待や育児放棄等発生しないよう親に対する支援をどのように行っていくのか？

A. H26年度に実施した裾野市少子化対策強化事業の一環「子育て支援パートナー」の養成を継続し、妊娠中あるいは子育て中の母親を地域で見守れる環境を整えていく。

Q2. 市行政として今後特に充実させる取り組みは？

A. 平成27年度に健康福祉部に子育て支援監を新配置し、子育て支援に関する庁内、各関係機関、地域との連携強化、情報共有を推進する。

Q3. 市民協働による地域力の活用として、主任児童委員との情報共有、連携強化を！

A. 民生委員・児童委員、主任児童委員の方をはじめ、地域の方々の理解、協力を頂きながら安心して子育てできるまちづくりを目指したい。

■厚生文教委員会の視察（1/22～23）

①滋賀県：東近江市（生活困窮者支援について）

H27年度施行の生活困窮者支援法に対するモデル市との情報交換。大学生による学習支援や庁内連携による早期発見の取り組みを学んできました。

②滋賀県：湖南市（発達障害者支援について）

発達障害において幼児期から25才（就職初期）迄の情報共有をシステムとして確立したモデル市を視察。福祉から各教育機関、就職という人生の各ステップにおいて継続的で一貫した支援を行うことにより、早期の自立につなげるという取り組みを学んできました。



※視察行政報告および私の所感は一ホームページに掲載しております。ご覧下さい。

■平成27年度人事（特徴）

- ①民間からの登用
トヨタ自動車東日本(株)を退職された、芹澤嘉次氏を行政経営監として採用。庁内の横断的改善に取り組んで頂きます。
- ②県から招へい
ア)政策企画に精通鈴木学氏；企画部長
イ)都市計画に精通金子隆一氏；まちづくり課長
- ③職員の派遣
ア)トヨタ自動車(株)へ：民間の改善手法習得
イ)福島県相馬市へ：防災施策に資する人材育成
ウ)静岡県との連携強化人事交流
くらし環境部、沼津土木事務所
I)その他継続：沼津市、後期高齢者医療広域連合
中島苑

■ふるさと納税について

最近話題のふるさと納税。裾野市の状況を聞くことができました。

年度	件数	納税額
23年度	2	¥200,000
24年度	1	¥100,000
25年度	3	¥180,000
26年度途中	35	¥526,590

ふるさと納税の特典争いのようになっていますが、趣旨は、愛着のある故郷の応援。賛否両論ありますが魅力ある裾野をPRしながら、現在特典としている9品の産品に加え、充実させていきたい。とのことでした。PRの一つの手段として、まだ頑張っている事を全国に発信すべく、充実させて欲しいですね。

■裾野市2015年度予算

		(前年度比)
一般会計	202億 500万円	(3.0%増)
特別会計	109億4100万円	(4.7%増)
企業会計	13億5500万円	(3.0%増)
計	325億 200万円	(3.6%増)

一般会計の財源

市税	106億 500万円	(7.4%↑)
<法人市民税	15億1000万円	(88.7%↑)>
市債	12億3700万円	(12.6%↓)
財政調整基金	8億1800万円	(40.3%↓)

※国の景気回復基調を受けて、法人市民税の大幅な増加を見込んでいます。ただ法人関係税の軽減や海外景気の動向を見据えると楽観できるものではありません。税の増収により、災害に備える財政調整基金の取り崩しはかなり抑制できるようになりますが、国や県の補助金等を積極的に活用してサービス向上につなげてもらいたいと思います。

■一般会計補正予算（第6回、第7回）

地方創生関連の交付金等により、14億4,500万円を歳入歳出予算総額に追加しました。

私が特に注目しているのは、裾野市独自の施策「裾野市認証保育施設支援事業：4,800千円」です。

保育園等の待機児童解消のために裾野市では、公立でも私立でも利用料による負担が変わらぬよう支援し、各定員に対して稼働率を上げることで対応してきました。これにより4月時点での待機児童は解消されています。一方では、園の決定に関する抽選など課題も残されています。

今回の事業は、国等の補助がない認可外保育園に対して、市が独自で補助するというもの。事業所内保育においてさらに対応数を増やしてもらったり、小規模保育の新規参入が見込めることとなります。様々な特色ある事業所が増える事が期待されます。私自身は、私立においては独自性を出して頂き、多少料金が高かろうが、是非入りたいと思える運営を期待していますが、まずは3歳以上なら希望者が入園できること体制を整えることが必要だと考えています。今回の事業で、裾野市のPRにつながればなお良いのですが、如何に！

各予算の詳細については、広報すその4月15日号をご覧くださいませ。
<http://www.city.susono.shizuoka.jp/prm/2015/27/27415.php>

各種活動のご紹介



●2月7日 子育て支援メープル事業 【ママチャレ】
子育て中のお母さん同士の交流の場。ハンドメイドや体操など子育てしながら自分の人生を楽しむ時間を見つけてもらう活動です。子供たちに囲まれながら保安係を担当しました。

●1月15日 民児協にて福祉用具の勉強会開催



民生委員の皆様と福祉用具、住宅改修について勉強しました。自分に合ったものを。これが基本ですね！

●富岡第二小学校の卒業式、入学式

来賓として初めて富二に出席。アットホームな雰囲気、絆の深さを実感。少ないのに歌の迫力がすごい！



●岩手県人会東部地区 新年会



生まれ故郷を共にする諸先輩方に、市議活動の報告もさせていただきました。みんな元気いっぱい！

●駿豆地区障がい者自立支援講演会

障がい者の就労にかかわる勉強の為参加。就労先の理解と地域の見守りが大切です！

